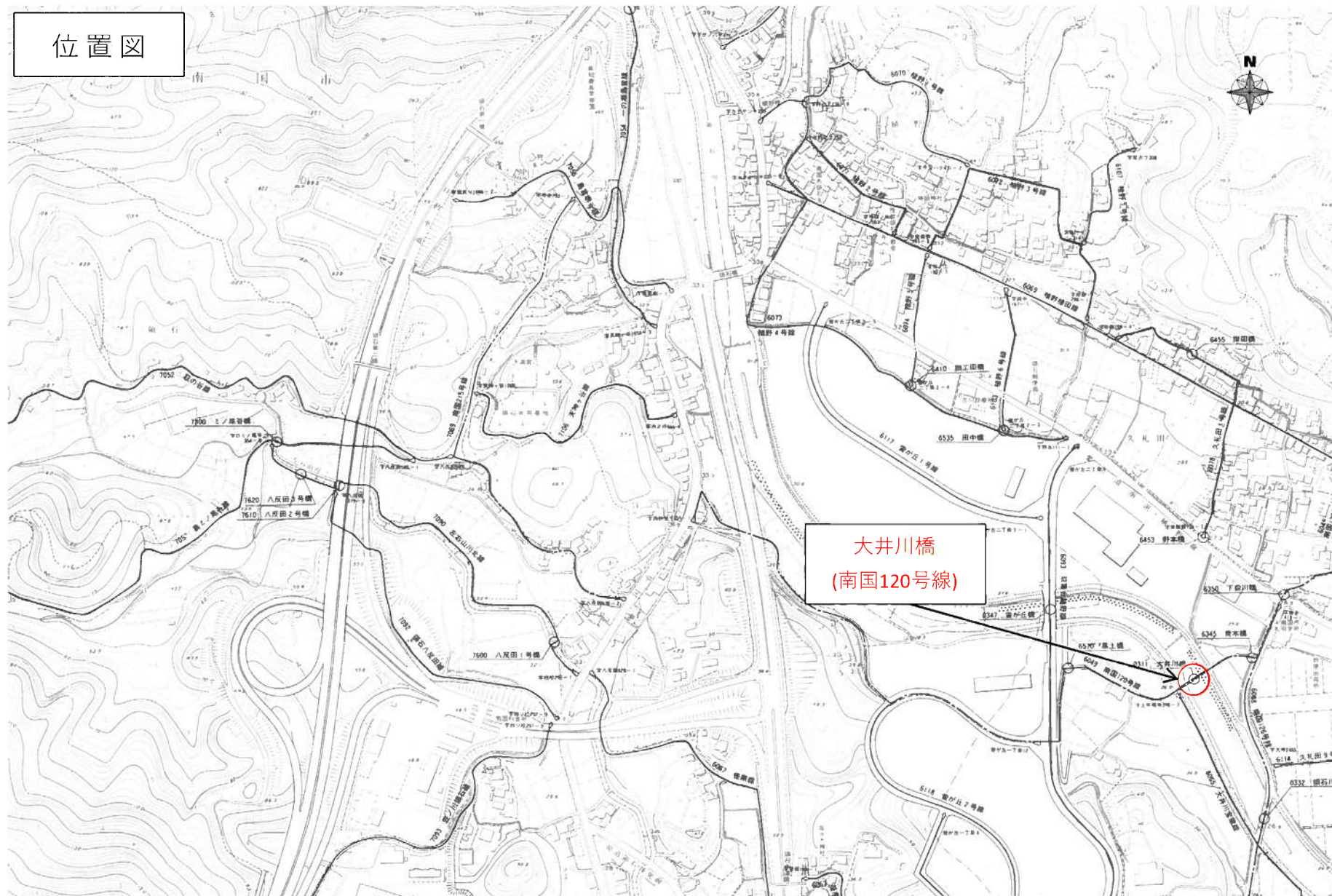


位置図



橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度 経度	33° 36' 57.93" 133° 38' 46.38"	橋梁ID
大井川橋 (フリガナ)おおいかわはし	南国120号線	南国市久礼田				33.61609,133.64622
管理者名	定期点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
南国市	2020.8.4	河川(領石川)	有	一般道	その他	上水道

部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)

定期点検者 松井 宏樹

定期点検時に記録				応急措置後に記録		
部材名	判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合に 記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	応急措置後の 判定区分	応急措置内容	応急措置及び 判定実施年月日
上部構造	主桁	Ⅱ	腐食	写真1、主桁01		
	横桁	Ⅱ	腐食	写真2、横桁02		
	床版	Ⅱ	漏水・遊離石灰	写真3、床版01		
下部構造	Ⅱ	剥離・鉄筋露出	写真4、下部工01			
支承部	Ⅰ					
その他	Ⅱ	変形・欠損	写真⑤、防護柵			

道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)

定期点検時に記録	
(判定区分)	(所見等)
Ⅱ	前回調査(2016.2.9)に比べ、損傷箇所の大きな変化はなく幅員も狭く大型車が通行できないため、劣化も進んでいないが塗装工事が望ましい。

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員
不明	40.56m	2.2m
橋梁形式		
鋼橋・鋼溶接橋 I桁(非合成) その他(不明) 直接基礎		

起点



終点

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

状況写真(損傷状況)

○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。

○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

上部構造 主桁01 (写真1)【判定区分: Ⅱ】 	上部構造 横桁02 (写真2)【判定区分: Ⅱ】 
上部構造 床版01 (写真3)【判定区分: Ⅱ】 	下部構造 下部工01 (写真4)【判定区分: Ⅱ】 

状況写真(損傷状況)

○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。

○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

その他 防護柵(写真5)【判定区分: Ⅱ】	上部構造【判定区分: 】
	
支承部【判定区分: 】	下部構造【判定区分: 】